

「再生可能エネルギー発電事業を通じた地域活性化モデル
開発支援調査事業」による地域ニーズに関する検討状況

平成25年2月1日
特定非営利法人八丈島産業育成会

1. 事業の趣旨、2. 事業概要

1. 資源エネルギー庁調査事業の趣旨

再生可能エネルギーの固定価格買取制度開始後、再生可能エネルギーを活用した地域活性化策は大きなチャンスを迎えている。

この機会を活かすためには、再生可能エネルギー発電事業を継続的に展開し、その収益を活用することで地域が自立・成長できる仕組みの構築を進めることが鍵となる。

このため、再生可能エネルギーを通じた地域活性化を企図した地域が自立的な事業計画作りを行う調査事業である。

2. 本調査の概要

八丈島には地熱など自然エネルギーのポテンシャルが豊富に存在し、固定価格買取制度の導入により、その活用可能性が高まっている。

この豊富なポテンシャルを最大限活用するための課題を整理しながら、事業化による地元への利益還元(地域金融機関の事業参画、余熱の有効利用の拡大等)などを多角的に検討し、地域活性化につなげていく。

3. 地域ニーズの把握

地域における再生可能エネルギーの導入拡大と地域活性化の施策の検討に先立ち、本事業の主体となる地域住民がどのような意向を持っているのかを把握するため、本調査事業において以下の手法で調査・検討を行った。

①地域勉強会

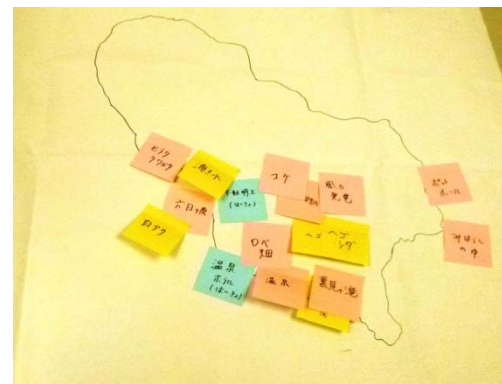
日時	平成24年11月30日(金) / 平成25年1月11日(金)
場所	東京都八丈支庁 / 八丈町役場会議室
参加者	東京大学飯田准教授、名古屋大学丸山准教授、八丈町関係各課、八丈町商工会、七島信用組合、東京都八丈支庁、東京都環境局等
内容	<ul style="list-style-type: none">•地域における再生可能エネルギー導入の意義•八丈島の再生可能エネルギーの現況•地熱の有効性•島内参加者からの意見出し、ディスカッションなど

3. 地域ニーズの把握

②高校生ワークショップ

●島内での再生可能エネルギーの意識向上と、本取組みの島内への周知を図るため、島内唯一の高校である都立八丈高校の高校生を対象とした「島の再生可能エネルギーを考えるワークショップ」を開催した。

日時	平成25年1月10日(木)15:30～17:30
参加者	八丈高校 8名 (その他先生等)
進行	東京大学先進科学技術研究センター 飯田誠 特任准教授



3. 地域ニーズの把握

③女性座談会

●八丈町における再生可能エネルギー拡大検討に先立ち、地域住民が日頃エネルギーや島の生活、島の将来の見通しについてどのような認識や意向を持っているのかを把握するため、島内の女性を対象とした座談会形式でのヒアリング調査を実施した。

日時	平成25年1月11日(金)10:00～11:30
参加者	八丈町に居住する女性(40代以上)15名
進行	東京大学先進科学技術研究センター 飯田誠 特任准教授



3. 地域ニーズの把握

④ アンケート調査(実施中)

●住民の意識・意向調査及び住民への情報提供、関心醸成のためにアンケート調査を実施中である。

調査対象	八丈町に居住する全4,657世帯(H25年1月1日現在)の世帯主。
実施時期	1月29、30日頃配布、2月12日に回収予定。
調査方法	配布:町報への折り込み。回収:郵送による。

●アンケート質問項目

項目	質問内容
回答者の属性	個人の年齢、職業、居住歴、居住地区等
エネルギー政策への関心について	町内エネルギー関連施設の認知度、再エネ導入政策への意向、再エネ普及への期待等
エネルギー選択について	家庭への再エネ導入意向、エネルギー源の選択、再エネ導入への出資意向等
再生可能エネルギー導入による地域活性化	再生可能エネルギーを活用した地域活性化の施策について自由記述